ロッキー通信No.13

「プライオン　思いを力に！」

学校教育目標：「豊かに育つ生徒」
～「挑戦」と「創造」～
校　　訓：「求学・親和・創造」

R7.7.9（水）発行　文責　校長　六山　和弘

西大村中学校の熱中症対策について

７月に入ってから、雨も降らずに厳しい暑さの日々が続いております。
「朝の涼しいうちに・・・」という言葉も死語になるくらいに、朝から既に暑い状態です。
そのような中に心配されるのが熱中症です。
本校では、以下のように熱中症対策を行いますので、ご協力をお願いいたします。

まずは、次の2つの言葉を肝に銘じて対峙してまいります。

『熱中症は、初期対応が肝心！！』　『体調不良があるのに無理した活動が命とりに！！』

【登下校時】

◇ 西中帽子の着用を推奨します。

◇ 日傘の使用を認めます。

◇ アイスリングや冷却タオル等の使用を認めます。
　※ 小型扇風機の使用については、金額もかかり、
　　事故の危険性（頭髪を巻き込む、バッテリーの発火等）
　　があるため認められません。

【授業中等】
◇ 毎時間ごとに体調確認を行います。あわせて、給水や塩分摂取をすすめます。

◇ 熱中症計指数が３１を超えた場合は、原則、外での活動は行いません。
　また、事前に体調不良を訴えた場合、特に体育は特別の措置をとります。
　※ 体育科の職員には熱中症計を携帯させております。

【部活動の対応】
◇ 大人の目がない中での生徒だけの活動は認めません。
　特に土・日の場合、大人（指導者・保護者等）がいない場合は、活動は中止。

◇ 熱中症計指数が３１を超えた場合は、原則、活動を中止。
　または、安全を保てる活動（ミーティング等）に切り替えます。
　※各部ごとに、顧問、指導者、保護者と相談しながら適切に対応願います。

◇ 夏休み期間中の平常日は、終日、技術科室、調理室をエアコンをかけて開放します。
　土・日は、技術科室を同様に開放します。
　部活動終了後は、必ずこの部屋、またはプールで水につかるまたはシャワーを
　浴びる等によりクールダウンさせてから帰宅させるよう努めます。

【各ご家庭へのお願い】
○ 各ご家庭でも毎朝体調確認を行い、少しでも不調があれば休ませる等の措置をお願いします。また、朝食を食べさせてください。その際、必ず一杯のお味噌汁を！！

○必ず、水筒を持たせてください。

○スポーツドリンクも可です。その際は、水筒に入れると腐食
　や化学変化等により体調に影響を及ぼす危険性があるために、
　ペットボトルにカバーをかけたものをもたせてください。

○お茶や水のみをもたせる場合は、あわせて少量の食塩をラップに
　包んでもたせてください。
　※市販の塩分タブレット等もありますが、これについては仲間に配る等による
　　アレルギー反応の危険性や別の問題が考えられるために認めません。（市内共通）

令和７年度「西中っ子の心を見つめる教育週間」を実施しました

６月３０日（月）、令和７年度「西中っ子の心を見つめる教育週間」の開催にあたり、全校朝会にて、「今ここにしかない 私の命、あなたの命」と題して、下記のような校長講話を行いました。その後は、各先生方が命に関するさまざまな授業を行いました。

１　まずは、「２００３年７月１日」「２００４年６月１日」「２０１４年７月２６日」のそれぞれの事件に簡単に触れながら、この習慣の意義や目的について話しました。

２　次に、昨年の振り返りとして下記の話をしました。

「言葉について」
・古代の日本では、言葉には不思議な力が宿ると信じられており、発した言葉どおりの結果を現す力があると考えられていた。これを言霊（ことだま）という。
・言葉の「葉」にも、繰り返し再生するという意味があり、そこからやはり言葉にも言ったことは繰り返し再生するという意味をもつ。
・だから、口癖には気をつけてほしい。「無理。嫌だ。できない。どうせ。自分なんか。・・・」
こんな言葉を口癖にしてしまうと、このようなことが繰り返し身のまわりに起こってしまう。
・次に、日本語の素晴らしさについて、ひらがなの五十音に注目してみよう。
「あい（＝愛）」で始まり、「をん（＝恩）」で終わる。
だから、この五十音から生まれる言葉も、どうせなら愛のある言葉、感謝の言葉を使いたい。
一番の感謝の言葉、それは「ありがとう」。

３　今年は、「ある法則について」ということで次の話をしました。

・まずは、誰にでもわかる当たり前の話。目に見える実体のあるもの。様々なものやお金は使えば減ります。例えば、鉛筆の芯は、使えばだんだんと減ってきます。消しゴムもそうです。
また、たくさん貯金があっても、買い物をたくさんすればお金は減っていきます。
水筒の中のお茶も、使えばというか飲めば減ります。これは当たり前のことですね。
・しかし、目に見えない実体のないものは、使えば増えるというのが原理原則なのだそうです。
例えば、人の「心」や「気持ち」というものは目に見えませんね。
・誰かが、人を憎んだり、妬（ねた）んだりしたとしたらどうでしょうか？
そうしたら、その人の中にある不親切な気持ちや憎しみの気持ちは増えていき、やがて気持ちが不安定になり惨（みじ）めになっていってしまいます。
・逆に、人に優しくしたり、親切にしたりしていけば、相手の心にもその優しさが響き、その人の心まで穏やかにしていきます。
それとともに、自分自身も満たされた感じや爽快な気持ちになっていきます。
・つまりは、人の立場を理解しようとして、優しく・親切に接することができれば、自分の中の優しさや親切心に磨きがかかり、心が豊かになっていくのです。これが、使えば増えるということです。
・皆さんは、どちらの増えるがいいと思いますか？　聞くまでもありませんよね。

４　最後にもう一つ　「時間を大切にすることは　命を大切にすること」

・この言葉は、昨年度まで皆さんに寄り添ってくれた養護の小川先生が残した言葉。
これに関わって、いくつか数字を示す。
・18・・・これは、世界中の海で波が１分間に打ち寄せる数の平均値。
それからもう一つ、これは人間の平常時の１分間の呼吸の平均値。
・18×2=36・・・これは、人の体温の平均値。
・36×2=72・・・これは、人の平常時の脈拍数の平均値。
・72×2=144・・・これは、人の平常の血圧の範囲内の数値。
・144×2=288・・・これは、人の赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいる日数
・不思議だね。このように、時間が人の命とつながっているんだよ。
だから、命とともに時間も大切にしてほしい。